

糖尿病・内分泌内科 *Diabetes and Endocrinology*

1. スタッフ構成

○ 戎井 理(主任部長、腎糖尿病センター副センター長)

1988年愛媛大学医学部卒

専門分野:糖尿病・内分泌代謝疾患

資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医・研修指導医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医・内分泌代謝科指導医、日本老年医学会老年病専門医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医

○ 大野 敬三(部長、栄養部長)

1991年自治医科大学卒

専門分野:糖尿病・内分泌代謝疾患

資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医、日本老年医学会老年病専門医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医

○ 宮内 省蔵(部長)

1993年愛媛大学医学部卒

専門分野:糖尿病・内分泌代謝疾患

資格:日本内科学会認定内科医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医・研修指導医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医・内分泌代謝科指導医、日本甲状腺学会専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○ 明坂 和幸(部長)

1999年愛媛大学医学部卒

専門分野:糖尿病・内分泌代謝疾患

資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本医師会認定産業医、厚生労働省臨床研修指導医

○ 渡部 杏子(副医長)

2004年愛媛大学医学部卒

専門分野:糖尿病・内分泌代謝疾患

資格:厚生労働省臨床研修指導医

2. 実績

■ 疾患別入院患者数

疾患名	2018	2019	2020	2021	2022
糖尿病(2型+その他)	360	339	302	264	173
1型糖尿病	43	39	24	24	14
原発性アルドステロン症疑い	9	24	15	11	8
糖尿病性ケトアシドーシス	2	5	4	4	3
低血糖	2	0	4	4	4
バセドウ病	2	6	2	9	15
クッシング症候群	2	2	2	1	2
副腎腫瘍	1	3	2	0	9

誤嚥性肺炎	1	0	1	0	1
敗血症	3	3	0	1	0
その他	32	21	16	19	43
合計	457	442	372	337	272

■ 検査・治療件数

検査・治療名	2018	2019	2020	2021	2022
甲状腺エコー	1,165	1,187	1,006	1,031	915
頸動脈エコー	513	462	355	306	201
内分泌負荷試験	30	72	62	73	68
糖負荷試験	23	25	21	27	25
甲状腺細胞診	109	145	84	73	72
糖尿病教室	202	150	103	192	127

■ 他科入院中当科紹介患者数

疾患名	2018	2019	2020	2021	2022
糖尿病	1,255	1,147	1,056	1,056	997
妊娠糖尿病	83	88	76	91	72
1型糖尿病	67	31	31	16	21
甲状腺機能亢進症	27	25	8	19	25
慢性甲状腺炎	4	6	10	24	20
その他	72	43	18	45	45
合計	1,508	1,340	1,199	1,251	1,180

■ 他科入院中診療依頼科の内訳

診療科名	2018	2019	2020	2021	2022
泌尿器科	181	187	194	178	176
消化器外科	168	120	152	154	159
消化器内科	155	164	151	141	165
産婦人科	166	132	117	138	134
呼吸器内科	85	58	59	119	70
循環器内科	102	140	103	91	63
整形外科	158	127	89	91	106
耳鼻咽喉科	55	75	48	57	50
心臓血管外科	81	67	50	49	40
腎臓内科	54	49	62	46	45
脳神経外科	53	33	34	41	27
呼吸器外科	38	44	32	28	30
眼科	50	44	12	22	19
形成外科	30	18	16	21	12
乳腺・内分泌外科	29	24	25	17	27
皮膚科	29	28	16	17	11
脳神経内科	32	11	8	9	20
総診+血液内科+放科	42	19	31	32	26
合計	1,508	1,340	1,199	1,251	1,180

■ クリニカルインディケーター

指標	成績
外来糖尿病患者 HbA1c<7.0%(NGSP) 比率	36.40%
糖尿病・内分泌内科医師の栄養指導件数	1,661件
糖尿病治療患者の中期的治療効果率(HbA1c低下幅)	
治療前	9.6±1.6%
3か月後	6.9±0.7%
6か月後	7.2±1.5%
糖尿病入院患者冠動脈評価率	100%

3. 2023 年度目標

新たに糖尿病治療薬として使用できるようになった GLP-1/GIP dual antagonist の治療に取り組んでいく予定です。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 三宅映己、藤堂裕彦、岡本唯、藤岡耀祐、塩見亮人、宮崎万純、中口博允、山本晋、宮内省蔵、南尚佳、古川慎哉、阿部雅則、日浅陽一、松浦文三。Metabolic dysfunction-associated fatty liver disease は糖尿病発症のリスク因子である。第 95 回日本内分泌学会学術総会。大分・Web 開催 (2022.6.2-4)
- 上田勇矢、本宮健太郎、柴田桃里、野間日菜子、大森愛夏、山中絵美、紙田晃、小林知子、井上信行、藤原直、川本光江、宮内省蔵、戎井理。糖尿病患者の腎機能とその関連因子について。2022 年度(令和 4 年度)愛媛県臨床検査学会定期総会。松前 (2022.6.12)
- 天野貴裕、渡部潤一、武智悠二、黒川絢帆、戎井理。2 型糖尿病患者における運動行動変容段階と抑うつ症状との関係。第 8 回日本糖尿病理学療法学会学術大会。Web 開催 (2022.9.3-4)
- 遠藤優輝、宮内省蔵、渡部杏子、明坂和幸、大野敬三、戎井理。術前血糖コントロールに大量ステロイドが有効であったメルカゾールアレルギーを有するパセドウ病の 1 例。第 22 回日本内分泌学会四国支部学術集会。徳島・Web 開催 (2022.9.4)
- 前田未来、原奈保子、井上真由美、東江梨奈、増田和恵、山下潤美、津田久美子、江口透、藤井文子、宮内省蔵。変化ステージモデルにおける再発を防ぐための支援のあり方。第 60 回日本糖尿病学会九州地方会 in FUKUOKA。福岡 (2022.10.7-8)
- 北田遼佑、宮内省蔵、渡部杏子、明坂和幸、大野敬三、戎井理。ペムプロリズマブ投与中に新規発症したパセドウ病の 1 例。第 32 回臨床内分泌代謝 Update。東京 (2022.11.11-12)

(2) 論文・著書

- 宮内省蔵、今村陽一、北田遼佑、塩見亮人、明坂和幸、大野敬三、戎井理。腫瘍が耐糖能異常の原因となり食後低血糖の病態に関与していたインスリンノーマの 1 例。愛媛医学 41(1)。29-33 (2022.3.1)
- 林瑞招、後藤有基、兵藤和樹、上田怜、橋田里妙、板橋今日子、森正和、宮崎幸大、中瀬浩一、名和由一郎、塩見亮人。中枢性尿崩症の合併を疑われた FLT3-ITD 変異陽性急性骨髄性白血病の 1 例。愛媛県立病院学会々誌 56。19-22 (2022.3)
- 宮内省蔵、玉井宏一、北田遼佑、塩見亮人、明坂和幸、大野敬三、井上考司、戎井理、三宅映己、古川慎哉、日浅陽一、松浦文三。免疫チェックポイント阻害薬による下垂体性副腎機能低下症の検討。日本内分泌学会雑誌 98(S.Update)。11-13 (2022.7.20)
- 福西宥希、宮内省蔵、北田遼佑、塩見亮人、明坂和幸、戎井理。ニボルマブ開始 3 年 7 か月経過後に発症した急性発症 I 型糖尿病の 1 例。愛媛医学 41(4)。212-216 (2022.12.1)